



## 「プロ研究」公開授業研究会開催中！子供の姿で成果を実感できます！

教育センターのプロジェクト研究では、県内の先生方に研究委員として協力していただき、授業実践を通して研究の成果を検証しています。今年度は、新たな取組として、その授業を広く県内に公開し、頂いたご意見を研究に役立てていきたいと考えています。

9月から10月にかけて開催した公開授業及び授業研究会の様子を紹介します。

### 授業改善「小学校社会科」公開授業 【10月6日(木)／春日小学校】



6年生の単元「明治の国づくりを進めた人々」の1時目を公開し、授業改善の手立てについて、実際の授業を基に授業研究会を行い、有効性を考えました。(授業者：田中 千尋 教諭)

#### ＜授業改善の手立て＞

- ◆児童の気付きや疑問を基に、単元を貫く学習問題を設定し、学習計画を立てることで、児童の学習に対する問題意識を育む。
- ◆児童の思考に沿って、資料から読み取れる情報を段階的に関連付けさせる資料提示や板書、発問(問い掛け、問い返し)を工夫する。

授業研究会では、授業改善の手立てについて、参加された先生方と建設的な協議ができました。

プロジェクト研究として、これまで9教科・領域で公開授業研究会を13の小・中学校で開催してきました。今後更に10会場で開催予定です。

#### 参加者の声

- ・初めて参加したが、思考・判断を高めるための学習問題の在り方について勉強になった。機会があれば、また参加したい。
- ・実際の授業を基に協議をすることができ、とても勉強になった。今後の授業に生かしていきたい。
- ・子供の発言の問い返しやつぶやきを拾うことによって、子供が主体的に考える社会科の授業になるということを実感した。

### 今後の公開授業研究会予定日一覧

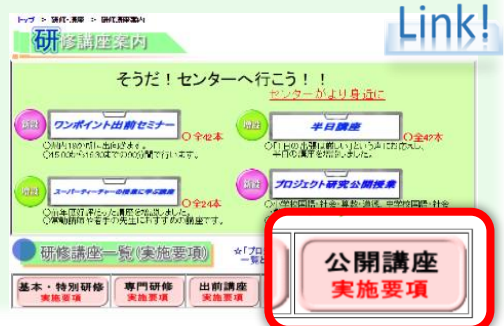
### 今からでも参加できます！

| 開催日      | 教科    | 会場校    | 申込み締切日   |
|----------|-------|--------|----------|
| 11/10(木) | 中学校国語 | 鍋島中学校  | 11/4(金)  |
| 11/11(金) | 小・中道徳 | 諸富中学校  | 11/4(金)  |
| 11/15(火) | 中学校英語 | 中原中学校  | 11/8(火)  |
| 11/22(火) | 中学校数学 | 青嶺中学校  | 11/15(火) |
| 11/25(金) | 小学校算数 | 山代西小学校 | 11/18(金) |
| 12/1(木)  | 小学校理科 | 浜崎小学校  | 11/24(木) |
| 1/27(金)  | 中学校理科 | 嬉野中学校  | 1/20(金)  |
| 2/2(木)   | 小学校理科 | 神野小学校  | 1/26(木)  |
| 2/9(木)   | 小学校理科 | 北明小学校  | 2/2(木)   |
| 2/10(金)  | 中学校理科 | 鬼塚中学校  | 2/3(金)   |

公開授業研究会は、午後半日で行います。13時開始です。(11/10(木) 中学校国語のみ13時30分開始です。)

参加申込は、SEI-Net「研修講座管理」にて、受け付けています。管理職の先生を通じてお申し込みください。

公開授業の内容は、センターWebの「研修講座案内」に掲載している実施要項でご確認ください。



このページの記事についての問い合わせ先

研究調査担当 0952-62-5214(直通)

今年度も、教育センターでは県内の先生方から教育実践論文を募集しています。各教科・領域、学校教育全般のテーマの中から、今日的教育課題を追究した研究を論文にして応募してみませんか？

## 募集内容

### (1) 校内研究の部

学校全体で取り組んできた研究

### (2) 個人・グループ研究の部

個人やグループで取り組んできた研究

## 応募方法

### (1) 応募期間

11月21日(月) ～ 11月30日(水)

### (2) 提出先

教育センター情報課 教育課程支援担当に、  
**管理職を通じてメール添付にて**お送りください。

☞ メール cent\_shien@mail.saga-ed.jp

### (3) その他

応募票や参考資料は、教育センターWeb ページからダウンロードしてご利用ください。

☞ 論文募集のページ：<http://www.saga-ed.jp/shien/ronbun/>

ア 応募票を必ず付けてください。

イ 参考資料をご参照ください。

- ・研究を進める際の参考資料：「研究計画の立て方・研究の進め方」「論文表記上の留意点」「論文を作成するにあたって」
- ・論文作成の際の参考資料：「論文の体裁・表記について」「論文の様式1・2・3」

## 各賞

各部門に、優秀賞、優良賞、奨励賞を設けています。

優秀賞及び優良賞に選ばれた論文については、教育センターのWeb ページに掲載します。

## 論文を書くにあたって Q&A

**Q** 「個人・グループ研究の部」には、論文の様式が「様式2・3」と2種類ありますが、どちらを使えばよいのですか？

**A** 今年度は、論文の様式を2種類用意しました。「様式2」は、「研究主題」を起こし、「主題設定の趣旨」、「研究の目標」と書き進めていく様式です。「様式3」は、「研究主題」を省略して、「研究の目標」から「目標設定の趣旨」へと書き進めていくパターンの様式になっています。教育実践の内容と照らし合わせて、どちらかを選んでお使いください。

**Q** 論文を書くのは初めてなので、どのように書けばよいのか悩んでいます。

**A** 教育センターのWeb ページの「研究計画の立て方・研究の進め方」をご覧ください。先生方の日々のすばらしい教育実践を論文に書き表すときのヒントになることが書かれています。また、「論文を作成するにあたって」も合わせて参考にされるとよいでしょう。こちらは、「研究計画の立て方・研究の進め方」の中から、様式に合わせてどのように書いたらよいかについて、ポイントをまとめています。

**先生方の教育実践論文 お待ちしております！**

- 教育センターWeb からは、過去の入賞作品もご覧いただけます。
- 教育センターの図書資料室には、教育実践論文を書く際に参考になる書籍があります。どうぞご利用ください。『学校現場における実証的な教育研究の進め方と論文の書き方』（西田雄行著 東洋館出版）『教育論文・研究報告の書き方』（教育論文の書き方研究会編 教育出版）『教育研究のすすめ方・論文のまとめ方』（福岡県教育研究所連盟編 第一法規）

詳しくは募集要項をご覧ください。





研究協力校（春日北小学校・大和中学校・致遠館高校）を会場として行われている講座授業には、多くの先生方が受講されています。講座授業では、センター所員が講座のテーマに基づいた内容の授業を行います。

今回は、中学校家庭科についての内容や授業の様子を紹介します。

## 中学校家庭科講座（持続可能な社会の構築を目指した授業づくり）・・・9月29日（木）

中学校家庭科講座では、題材名「循環型社会をつくるために私たちにできることは何だろう」における授業計画を右の構想図のように考え、講座授業に臨みました。

講座授業では、次の2点を提案しました。1点目は、ESD（持続可能な開発のための教育）の視点を取り入れた題材計画の提案です。中学校学習指導要領解説技術・家庭編『D 身近な消費生活と環境（2）「家庭生活と環境」』の内容を、ファストファッション※1に焦点を当てて題材構成をしました。

2点目は、アクティブ・ラーニングの視点（「主体的・対話的で深い学び」）を取り入れた題材計画の提案です。4時間の題材計画で1、2時目に習得した学習事項を3時目に活用し、4時目に探究する学習過程を計画し、習得・活用・探究の学習プロセスの中で問題発見・解決を目指す「深い学び」につながるように工夫しました。1時目から3時目まで、段階的に4人班での「対話的な学び」の場面を取り入れていきました。そして、3時目の講座授業では、「循環型社会は実現するのだろうか」を学習のめあてとし、既習事項を基に実践的な応用問題（ファストファッションと循環型社会）に取り組ませました。生徒にとってより身近に感じるめあてを設定することで「主体的な学び」につなげるとともに、「対話的な学び」については、班での話し合い活動で、付箋を用いて意見を「見える化」し、グルーピングした後、3色のカラーシールを使ってそれぞれの意見に対して考えを交換する活動を設定しました。

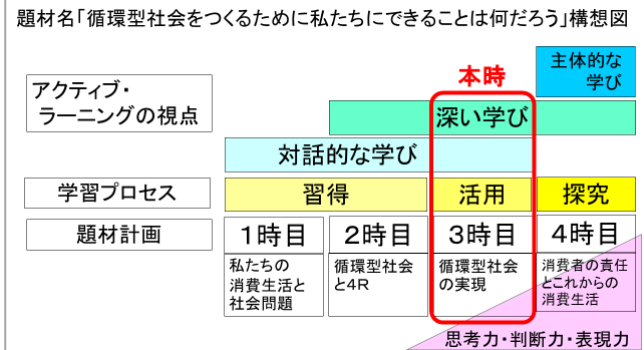
今回の提案は、年度末に教育センターWeb（「講座授業事例集」及び「授業に役立つ実践研究」）でも公開する予定です。是非ご覧ください。

（中学校家庭科担当 納塚 真紀子）



付箋を用いた班での話し合い

※1 2000年代半ばから使われ始めた、ファストフードをなぞった造語である。最新の流行を取り入れながらも低価格に抑えた衣料品そのものや、そのようなブランド、業態を指す。ごく短いサイクルで世界的に大量生産・販売・着用されている。新井紀子「新版 生活主体を育む 探求する力をつける家庭科」ドメス出版



## 11月のサタセン

11月に実施する「サタセン」（土曜日に教育センターで行う自主参加の研修会）の概要をご紹介します。申込み方法等の詳細な内容は、各担当者から学校に案内します。

**各自で直接お申込みください。（管理職を通しての申込みではありません）**

| 校種・教科等         | 期日    | 時間          | テーマ・内容等                                                                                                              | 担当者・連絡先                                                  |
|----------------|-------|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|
| 小・中学校教育相談      | 11/12 | 10:00～12:00 | 「やってみよう！学級づくりに役立つ 構成的グループエンカウンター(SGE)」<br>小学校、中学校で使えるSGEのショートエクササイズをご紹介します。児童生徒への言葉掛けやシェアリングの仕方などについて一緒に考えてみませんか？    | 堤 葉月・森永 綾子・坂井 修<br>江頭 満江・中原 禎明<br>Tel.0952-62-5211（堤）    |
| 生徒指導<br>特別支援教育 | 11/12 | 10:00～12:00 | 「どうしたらいいの？！授業づくり 特別支援学級の教材紹介」<br>特別支援学級や通級指導教室で使える教材を紹介します。この機会に、実際に使ってみて、これからの授業づくりに生かしてみたいか教えてください。                | 伊東 一義・中島 由美・堤 文<br>田代 いつみ・水野 留美子<br>Tel.0952-62-5211（伊東） |
| 小学校学級経営        | 11/12 | 10:00～12:00 | 「2学期の学級経営 ～探ろう！クラスをワンステップ上げる手立て～」<br>佐賀大学教育学部准教授中村尚志先生が、学級経営のアドバイスをくださいます。自分の学級経営を振り返って、よりよいクラスにしたいための手立てを一緒に考えましょう。 | 中武 友子・白水 佳奈子<br>榎原 さゆり<br>Tel.0952-62-5212（中武）           |
| 小・中学校音楽科       | 11/19 | 14:00～16:30 | 「創作（音楽づくり）のアイデアとヒント」【会場：附属中学校】<br>創作（音楽づくり）に苦手意識はありませんか？箏や打楽器を用いた創作（音楽づくり）の授業について一緒に考えましょう。                          | 副島 和久・釋 美貴子<br>坂本 康子<br>Tel.0952-62-5238（釋）              |
| 中学校社会科         | 11/26 | 14:00～16:00 | 「社会科指導のQ&A ～授業改善のヒント～」<br>日頃の教科指導について情報交換を行い、先生方の授業づくりに役立つヒントを紹介します。                                                 | 元山 祐介・吉末 恭亨<br>Tel.0952-62-5214（元山）                      |
| 小学校外国語活動       | 11/26 | 14:00～16:00 | 「宗 誠先生と学ぼう！ 外国語活動の授業づくり＆お悩み何でも相談会」<br>外国語活動の授業づくりについて、宗 誠先生からアドバイスしていただきます。普段取り組まれている外国語活動の授業についてのお悩みを相談するいい機会です！    | 川原 浩子<br>Tel.0952-62-5238（川原）                            |

9月号に続いて今月は、小学校外国語活動、中学校数学科、そして小学校教育相談のそれぞれについて研究に取り組んでいる長期研修生を紹介します。

また、長期研修事業担当から今年度、特に力を入れて取り組んでいることなどについても紹介します。

### 「積極的な コミュニケーション活動」

小学校 外国語活動  
牛尾 美穂 研修生  
〈嬉野市立轟小学校〉



外国語を用いて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする児童の育成を目指して研究に取り組んでいます。

積極的にコミュニケーションを図ろうとする児童の姿を、「相手に伝わる工夫をしながら自分の言いたいことを伝えようとする姿」や「相手の思いや考えを理解しようとする姿」と捉え、教師のどのような働き掛けが、児童の積極的なコミュニケーション活動につながるのかを考えながら研究を進めています。

### 「方略を意識した問題解決」

中学校 数学科  
小園 絵美 研修生  
〈武雄市立川登中学校〉



新しい問題に出合った時に、自分で解決しようとする生徒の育成を目指して、研究に取り組んでいます。問題の中の情報と既習の知識や技能を関係付ける力が重要だと考え、それらを関係付ける媒介としてストラテジー（方略）に着目しました。

問題解決の場面で方略を意識させることで、方略を用いる場面の知識を獲得させ、経験を積みせると共に、その有効性を感じさせていき、目指す生徒の育成に迫りたいと考えています。

### 「自己有用感を高める」

小学校 教育相談  
松本 明子 研修生  
〈鹿島市立七浦小学校〉



自他のよさを認め合い伝え合う活動において、自己有用感を高める手立ての工夫について研究に取り組んでいます。

児童は友達との関係について様々な悩みを抱えながら、学校生活を送っています。児童が学級での「存在価値」や「誰かの役に立つこと」を感じること、自己有用感を高め、学級生活に満足できるものと考えます。

自己有用感について理論研究を行い、それを高める手立てを具体的に考えながら、研究を進めています。

ミネルバ9月号 (158号)



前回の9月号に掲載した4名の長期研修生の紹介については、上の画像をクリックしてご覧いただけます。

### 《担当より》

教科・領域に関する研究を進める上で、根拠となる理論に基づくことは不可欠です。今年度の長期研修生は、理論研究を行うに当たり、幅広く教育心理学や教育哲学まで紐解き、研究を進めることに重点を置いています。現在、長期研修生は、各々の研究仮説に基づく手立てを具現化し、研修生同士やセンター所員を対象に模擬授業を重ねているところです。

今後は、実際に学校現場での検証授業を行った上で研究をまとめ、年度末に教育センターで行われる成果発表会や Web でその成果を発信していきますので、ご期待ください。  
(長期研修担当 松尾 天)

